

令和3年度 第3回地方創生推進会議 要録

日 時：令和3年6月24日（木） 18：25～19：20

場 所：八幡防災センター 防災研修室

出席者：（委員）井俣 潤、小池 敏、出崎 善久、兼山 吉枝、小倉 誠、佐藤 まり
稲葉 光紀、粥川 和雄

（事務局）河合部長、永瀬課長、前田係長、上村

欠席者：青木副市長、松山 誠美、山内 正文

傍聴者：なし

1. 開会

永瀬課長により開会

2. 挨拶

井俣会長より挨拶

河合部長より挨拶

3. 協議事項

（進行を井俣会長に交代）

- ・第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について

（1）はじめに、第1期総合戦略の検証について

（説明）

事務局①：（資料をもとに説明）

昨年度からの地方創生推進会議を踏まえ、改訂案を冊子の状態にした。

「1 はじめに」の部分に改訂理由として「（4）社会情勢の変化に伴う戦略の見直し（改訂）」を追加した。

「2 第1期総合戦略の検証」の部分は、第2期総合戦略策定時の内容である旨の説明文を追記し、基本的には修正を行っていない。

（意見等）

委員①：ご意見やご質問はないか。

委員②：第1期総合戦略の検証のKPI達成率の表と文章が合わない部分がある。文章では、「多くが目標に近い値のKPIとなっており、これらを含めるとKPIの達成率は7割を超えます。」とあるが、表の達成率は7割を超えていない。

→事務局②：令和2年3月の策定時の前提での表現である。

→事務局③：例えば、KPIを100とし、100を達成したのが50%。ただし、文章の記載にもあるように、多くが目標値に近い値とあるので、達成はしていないけど、90という近い値のものもあり、それを含めると7割を超えている

という意味合いである。そのため、文章と表の数字が異なっているが、このままで進めさせていただきたい。

→委員②：承知した。

(2) 基本戦略について

(説明)

事務局①：(資料をもとに説明)

SDGsの目標、KPIを含めて、各担当課での確認結果の反映と総合計画との整合性の調整をし、再修正した。

(意見等)

委員①：ご意見やご質問はないか。

委員③：1-1のKPIについて

コロナ禍を勘案して下げたということか。

→事務局①：そのとおりである。あとは、リピーター率は、カウント方法を変更した。今までは、過去全ての期間に2回以上の来訪の割合を過去1年以内に2回以上の来訪の割合に変更した。

委員③：満足度が上がり、リピーター率が下がる理由は、カウントの方法が変わったからなのか。

→事務局①：そのとおりである。

(3) 補足説明

事務局②：前回会議では、4-5の施策でオンライン診療・電子カルテの導入と示したが、電子カルテの部分は市民病院では既に導入済みだったため、「オンライン診療の導入」とさせていただきたい。

1-1のKPIのリピーター率のカウント方法が変更に伴い、現状値は「-」に訂正させていただく。

→委員③：カウント方法が異なるので、比較できないと思っていた。カウント方法が難しいが、リピーター率は重要である。

→事務局③：リピーター率の記載部分については、担当課ともう一度、協議を行う。

(意見等)

委員③：KPIの目標値がR6となっているが、今のコロナの状況を考えるといろんなことに関わってくるので、R6というのはどうかと少し思うが、当初からR6だったのか。

→事務局③：そうである。観光の部分はコロナ以前と比べると減少しているので、今回、下方修正をした。

→委員③：スポーツの部分も影響があると思うが、ここは変わっていない。

→事務局③：大学等の活動がなくなるわけではないので、スポーツツーリズムの活動は続け

ていくということで目標値はそのままとした。

→委員③：宿泊者数、誘致数が多いので、がんばる数字だなと思った。

→事務局③：本格的にスポーツツーリズムが始まったが昨年の3月なので、これ以前の数字は取組前の数字であることを踏まえての目標値設定である。

→委員③：高い目標はよい。

(4) その他

事務局①：今後のスケジュールについて説明

6月30日に議会への説明、最終調整後に総合計画と合わせて、7月9日から28日の20日間でパブリックコメントを実施する。

その後、パブリックコメントの対応をし、改訂に向けて進める。

4. 閉会

(終了 19時20分)